



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 真部 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部副本部長兼総務広報部長 (氏名) 重光 誠

TEL 06-6131-5190

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	61,097	0.6	7		59	24.0	5	87.9
29年3月期第2四半期	61,486	5.5	15	85.7	77	52.6	44	80.5

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 81百万円 (55.0%) 29年3月期第2四半期 52百万円 (75.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	0.39	
29年3月期第2四半期	3.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	21,860	6,358	29.1
29年3月期	20,311	6,345	31.2

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 6,358百万円 29年3月期 6,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		5.00	5.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	1.3	420	14.7	580	4.4	470	4.5	34.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	13,774,819 株	29年3月期	13,774,819 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	49,669 株	29年3月期	49,491 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	13,725,194 株	29年3月期2Q	13,725,396 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 211「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外情勢の先行きに不透明感があるものの、輸出や設備投資などは持ち直しが続いており、雇用環境や企業収益も改善傾向となるなど、緩やかな回復基調となりました。

当水産流通業界におきましては、水産物の需要が国際的に増加していることなどにより仕入価格が上昇するなか、漁獲量減少の影響などもあり水産物の取扱数量は減少傾向で推移しました。また、販売競争は引き続き激化するなど厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が610億97百万円（前年同期比3億88百万円減）となり、利益面では営業損失7百万円（前年同期は15百万円の営業利益）、経常利益59百万円（前年同期比18百万円減）となりました。また、税金費用54百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は5百万円（前年同期比39百万円減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

水産物販売事業は、売上高については国外への販売が順調に推移した一方、天候不順の影響などによる不安定な漁獲状況や消費者の低価格・節約志向の影響を受け、国内での販売が伸び悩んだこと等により610億9百万円（前年同期比3億89百万円減）となり、利益面では粗利率の改善により売上総利益は増加したものの販売費及び一般管理費の増加を吸収しきれず営業利益は80百万円（前年同期比8百万円減）となりました。

冷蔵倉庫等事業は、売上高については1億19百万円（前年同期比0百万円減）と減少し、利益面では原価の増加等により営業損失は4百万円（前年同期は1百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて15億48百万円増加し、218億60百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が11億85百万円、商品及び製品が2億55百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて15億36百万円増加し、155億1百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が17億78百万円増加する一方、短期借入金が1億99百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて12百万円増加し、63億58百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が77百万円増加する一方、利益剰余金が63百万円減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、23億52百万円（前連結会計年度比1億31百万円増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加による資金の減少（11億75百万円）、仕入債務の増加による資金の増加（17億52百万円）等により5億17百万円の収入（前年同期は3億19百万円の収入）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による資金の減少（97百万円）、定期預金の払戻による資金の増加（75百万円）等により28百万円の支出（前年同期は1億63百万円の支出）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少（1億99百万円）、長期借入金の返済（85百万円）等により3億57百万円の支出（前年同期は1億58百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、平成29年5月12日付の「平成29年3月期 決算短信」にて公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,295	2,352
受取手形及び売掛金	8,720	9,905
商品及び製品	2,673	2,928
短期貸付金	300	300
未収消費税等	31	30
繰延税金資産	87	99
その他	216	191
貸倒引当金	△26	△29
流動資産合計	14,297	15,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	819	786
土地	2,192	2,192
その他(純額)	110	181
有形固定資産合計	3,123	3,160
無形固定資産	336	255
投資その他の資産		
投資有価証券	2,432	2,543
長期貸付金	280	280
破産更生債権等	660	661
固定化営業債権	840	835
繰延税金資産	7	7
その他	88	87
貸倒引当金	△1,756	△1,752
投資その他の資産合計	2,553	2,665
固定資産合計	6,013	6,080
資産合計	20,311	21,860

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,858	8,636
短期借入金	2,200	2,000
1年内返済予定の長期借入金	168	166
未払金	439	513
未払法人税等	103	58
賞与引当金	152	152
その他	226	263
流動負債合計	10,147	11,790
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	332	249
繰延税金負債	291	353
再評価に係る繰延税金負債	260	260
役員退職慰労引当金	165	175
退職給付に係る負債	1,922	1,822
その他	345	349
固定負債合計	3,817	3,711
負債合計	13,965	15,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	497	497
利益剰余金	2,403	2,340
自己株式	△19	△19
株主資本合計	5,233	5,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	914	991
繰延ヘッジ損益	5	0
土地再評価差額金	238	238
退職給付に係る調整累計額	△46	△43
その他の包括利益累計額合計	1,112	1,188
純資産合計	6,345	6,358
負債純資産合計	20,311	21,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	61,486	61,097
売上原価	58,286	57,870
売上総利益	3,200	3,227
販売費及び一般管理費	3,184	3,235
営業利益又は営業損失(△)	15	△7
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	32	32
受取賃貸料	72	72
貸倒引当金戻入額	5	0
その他	7	15
営業外収益合計	121	123
営業外費用		
支払利息	12	10
賃貸費用	37	36
その他	9	9
営業外費用合計	59	56
経常利益	77	59
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	80	60
法人税、住民税及び事業税	35	33
法人税等調整額	0	21
法人税等合計	36	54
四半期純利益	44	5
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	44	5

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	44	5
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	77
繰延ヘッジ損益	△0	△4
退職給付に係る調整額	△3	3
その他の包括利益合計	7	75
四半期包括利益	52	81
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52	81
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	80	60
減価償却費	141	144
賞与引当金の増減額（△は減少）	2	0
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△12	10
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△9	△0
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△111	△100
受取利息及び受取配当金	△35	△35
支払利息	12	10
有形固定資産売却損益（△は益）	△2	△1
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	—
売上債権の増減額（△は増加）	225	△1,175
たな卸資産の増減額（△は増加）	△212	△255
その他の資産の増減額（△は増加）	7	6
仕入債務の増減額（△は減少）	216	1,752
その他の負債の増減額（△は減少）	20	93
未払消費税等の増減額（△は減少）	△7	△4
その他	△3	3
小計	311	509
利息及び配当金の受取額	55	81
利息の支払額	△12	△10
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△35	△61
営業活動によるキャッシュ・フロー	319	517
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75	—
定期預金の払戻による収入	75	75
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	2	—
有形固定資産の取得による支出	△146	△97
有形固定資産の売却による収入	2	1
無形固定資産の取得による支出	△15	△1
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	0
その他の支出	△2	△2
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△0	△199
長期借入金の返済による支出	△83	△85
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△68	△66
リース債務の返済による支出	△7	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158	△357
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2	131
現金及び現金同等物の期首残高	1,988	2,220
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,985	2,352

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,399	87	61,486	—	61,486
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	33	33	△33	—
計	61,399	120	61,519	△33	61,486
セグメント利益	89	1	90	△75	15

(注)1. セグメント利益の調整額△75百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,009	88	61,097	—	61,097
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	31	31	△31	—
計	61,009	119	61,129	△31	61,097
セグメント利益又は損失 (△)	80	△4	76	△84	△7

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△84百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。